

第10回 第1分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所第二分庁舎 1階 1-⑦会議室
日 時	平成17年11月10日（木） 午後6時30分～午後8時30分	記録者	【学生補助員】 田多井さやか 古谷聡子
		責任者	区事務局（菊地、並木）
<p>会議出席者：30名 （区民委員：21名 学識委員：2名 区職員：5名 傍聴者：2名）</p>			
<p>■配布資料</p> <p>① 次第 ② 第9回会議録 ③ 今後の進め方 ④ 新宿区次世代育成支援計画の体系と今までの提案との比較 ⑤ 第11～第13回開催のお知らせ ⑥ 第5回「新宿まちづくり学」講座のお知らせ ⑦ 次世代育成支援フォーラム in とうきょう ～子育てするならわがまちで！～</p> <p>■進行内容</p> <p>1 今後の進め方 2 グループ討議 3 その他（事務局）</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1. 今後の進め方</p> <p>○：（菊地）</p> <p>時間となりましたので始めさせていただきます。</p> <p>本日は、今後の進め方について説明した後に、グループ討議に入っていただきます。</p> <p>本日、区民会議が始まる前に各グループのリーダーの方々にお集まりいただき、第1分科会としての今後の進め方について相談をしました。その中で、資料③の「今後の進め方」を見ていただきたいのですが、まず、来年2月19日の中間発表会に向けて、第1分科会の意見を集約する作業があります。これについて、本で行われたリーダー会で決定された内容について説明します。今まで各グループで発表した内容について、委員の皆さんから様々な意見、提案がありました。その意見、提案を踏まえ、再度、グループで検討していただき、レポートにまとめていただきたいと思います。来年の中間発表会は、各分科会が発表だけをして終わりでは、他の分科会の委員がどのよう</p>			

な意見や考えを持っているか分かりません。また、区民会議参加者だけでなく、区民会議に参加していない区民等にも伝えていく必要があります。ですから、全ての分科会でレポートを提出していただきたいと思います。このレポートは、今まで議論してきたことや発表するために作成した資料等をレポート形式に整理するものです。レポートの様式については、資料③の「今後の進め方」に書いてあります。

まず、「テーマ○○○○」のところにはそれぞれのグループで議論されてきたテーマが入ります。以下は、項目に沿ってレポート形式に整理し直す作業です。発表時に各グループや学識委員から意見もいただいていますので、その意見に対して自分たちのグループとしてどう反映していくかを議論して、現在の提案の肉付けや提案に基づく具体的なデータを収集し、より精緻なものにしていきたいと思っています。それを今回の第10回と次回の第11回の分科会で行います。

その後は、レポートに基づいて意見交換を行い、総括的に第1分科会全体のものとしたと思います。次に、グループの再編成をして、今後の新たな課題やどうしても第1分科会として取り組まなければならない課題を話し合っていきたいと思っています。レポートについては以上です。

また、資料④の「新宿区次世代育成支援計画の体系と今までの提案との比較」があります。これは「新宿区次世代育成支援計画」の目標を左に、各グループから出された提案を目標に合わせて右に載せました。これは事務局が分類したものですから、皆さんが議論した視点で見た際に、これは視点が異なるという部分があるかもしれません。そうした部分はこちらで修正しますので、指摘してください。さらに、この資料には、右側が空白の部分があります。これは、まだ「新宿区次世代育成支援計画」には課題として挙げられてはいますが、第1分科会では検討されていない部分です。もちろん、計画に挙げられたものを全て、検討するというものではありません。しかし、今後、第1分科会として区の基本構想や基本計画を考えていく中では、必要となるものもあると思います。議論の際には、この資料を参考に利用していただければと思います。

最後に、資料⑦の「次世代育成支援フォーラム in とうきょう ～子育てするならわがまちで！～」(以下、資料⑦)をお配りさせていただきました。そちらは学識の杉山委員から説明があります。

◎：(杉山)

資料⑦の説明の前に、資料④の「新宿区次世代育成支援計画の体系と今までの提案との比較」(以下、資料④)について、私の意見を報告させていただき、議論の参考にしていただけたらと思います。まず、そちらを先に話します。

資料④の目標2「きめこまやかなサービスですべての子育て家庭をサポートします」では、各グループから「居場所づくり」の課題や解決策等がありました。しかし、新宿区が既に進めており、次世代育成支援計画ではどのように取り扱われているかの言

及が足りなかったと思います。また目標2の「3. 特に配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実」の中の「①障害児等と家庭への支援」、「②ひとり親家庭への支援」、「③外国人家庭への支援」、「④虐待予防及び被虐待防止ネットワークの実施」といった区が実施しないと、どこも解決に向けて行動を起こさない部分をどうするのか。そこを考えていかないと区として計画を立案し、施策を行う意味がありません。自分たちの興味がある分野だけを議論するのではなく、この辺りの議論も深めていただきたいのです。併せて、目標3「子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりを進めます」では、働き方の問題が解決に向けて弱いと思います。また、多くの企業が新宿区にはあるので、区や区民は企業にどういう働きかけができるのかという点も考えていただきたいと思い、私から提案させていただきました。こうした問題は、我々だけでは検討できない部分もあるので、共稼ぎで保育園に子どもを預けている父母の方や、障害のある子どもを育てている父母へアンケート調査をすることで、自分たち以外の声を聞いて、それを第1分科会の意見に反映することもひとつの方法だと思います。時間はありませんが、やるべきではないかと思います。是非、こうした点も検討していただければと思います。

最後に、資料⑦の「次世代育成支援フォーラム in とうきょう ～子育てするならわがまちで！～」をご覧ください。11月25日(金)、三鷹市の三鷹産業プラザで1日かけて、子育てのシンポジウムを行う予定です。午前中に子育てNPOの市民団体向けに、子育て支援のおかれている現状についての講演と、団体間にネットワークをつくろうという試みを行います。また、午後は分科会に分かれて、ワークショップ2では、当分科会の高山委員が新宿区の区民会議で、何が行われているのかを報告していただきます。さらに、ワークショップ3では、「ゆったりーの」に携わる小原委員が、「子育て支援の現場から見た協働のかたち」と題して、「ゆったりーの」の概要を、武蔵野市の「子どもテンミリオンハウス」や品川区の「ニッコリータ・てとととねっと」の方々と一緒に発表してもらおう予定です。ぜひ、皆さんも参加していただければと思います。

○：(菊地)

それでは、本日と次回は先日までの発表の際の質疑等を整理し、レポートにまとめる作業にあたりたいと思います。この進め方について質問はありますか。ないようでしたら、リーダーの方々からも了承を得ていますので、この方針で進めてまいります。また、グループの再編成については、本日の会が終わるまでに、先にグループのリーダーに相談させていただいた案を黒板に提示させていただきます。後ほど、その説明をさせていただきますと思います。

それでは、学識の汐見委員から前回までの発表を踏まえてレポートにしていく際のアドバイスをお願いいたします。

◎：(汐見)

これからの作業は要領よく進めていかないと終わりませんので、その辺の話も含めてさせていただきます。今までの流れとしては、各自の興味のあるテーマをもとにグループに分かれ、それぞれのテーマに沿って新宿区で取り上げてほしい課題を議論してきました。それを踏まえて、そろそろ、それらの議論を誰にでも分かる形で整理する作業が必要となってきました。その際、形式を統一していただきたい。資料③の下にありますようなレポートのフォーマットのように書いていただきたいと考えています。まず、各グループのテーマに沿った現状と課題、それから、その課題を解決していくためには、どういう取り組みを今後していかなくてはならないかについて簡潔に書いていただきたいと思います。その後、区民が実質的には中心として行っていくこと、行政が行うべきことを関連付けながら書いていただきたいと思います。さらに、その手段によって、どういったことが達成されていくのかの見通しについて、コメントしていただきたいと考えています。

このような作業を進めていただきたいわけですが、このレポートをそのまま中間発表会に意見として出せば済むというものではありません。なぜなら、基本構想・基本計画に盛り込んでいく際のたたき台となるのは次世代育成支援計画です。この計画を基本構想・基本計画に横すべりさせるだけでは、考えが足りないということです。このプランを基本構想・基本計画の中に発展させる際に、どういうことを書き込んでいくべきかということを議論していくことが、この分科会のひとつの狙いでもあります。基本構想・基本計画は、私たちがここで検討したことだけを書くではありません。もう一度、原点に戻りまして、これまでの議論は、次世代育成支援計画の中で提案されていなかったものもありますし、計画で提起されていたことを深めたものである、ということをチェックしなければなりません。次世代育成支援計画は総合プランですから、私たちが議論してきたこと以外のものも多く入っています。それをこれから全部チェックしていくことは無理だと思います。そうではなくて、プランを見てそのまま基本計画に移行しても良いものと、そのままでは具体化できないと思われるものをチェックしてほしいと思います。対応としては、次世代育成支援計画を一度見直していただいて、今まで議論してきたことと照らし合わせていただきたいということです。その作業を行った上で、今度はこの分科会として、もう少し分かりやすい形式に直したいと思います。今の状況では様々な意見が出て、テーマがあっちに行ったり、こっちに行ったりしています。それを一度シャッフルして、違う方向から整理し直す作業をして分かりやすくします。それを12月の作業として考えています。その作業に入る前に、抜けている部分について議論していただきたいというのが、私たち学識委員の考えていることなのです。この作業をやらないと、全体を見渡した上での計画であることにならないので、必要な作業だと考えています。

今から行っていただきたいのは、自分たちのグループが行ってきたことをまとめることです。11月28日までに原稿をいただきたいので、本日と11月21日の2回で、ま

とめていただきたいと思いますが、その作業と並行して次世代育成支援計画との照らし合わせをやっていただきたいのです。今日はテーマ決めや、誰が書き手になるかとか、作業手順とか、どのように書いたら良いのかについて議論を始めていただきたいと思います。何かご質問はありますか。

●：テーマを次世代育成支援計画の課題を分解して、具体的に設定しても構いませんか？

◎：(汐見)

結構です。我々の議論はかなり大きなところでやっています。それを具体的にするとしたら三つくらいに分かれる部分はあるでしょう。それを次世代育成支援計画のこの部分で出来る、と提案していただくと大変助かります。

●：ある程度具体的なものを考えてしまっているのいいのですか。また、それが次世代育成支援計画の項目を横断するものになってしまっても構いませんか。

◎：(汐見)

構いません。議論をする際に次世代育成支援計画から抜けている部分を確認していただきたいという意味です。

●：とても悩みながらお話を聞いていたのですが、例えば空き施設の利用をテーマにすると、現状と課題は「学校統廃合で教室などのスペースが空くようになったが、施設の解放には至っていない」、どのような取り組みが必要かには「子どもたちの安全に配慮して地域のサポーターを増やしていく」というような書き方でよろしいでしょうか。

◎：(汐見)

結構だと思います。行政がこれまでに挙げたプランを具体的に実行の段階を想定したときに、理想どおりには行かない部分があるから、基本計画の際にはこれをもう少し改良した、区民としてここだけは実現してほしいという部分をうまく浮かび上がらせて、プランに仕立て上げなくてはならないと考えています。

○：(菊地)

他によろしいですか。議論しているうちに不明な点が出ましたら、学識委員にアドバイスをもらってください。それではグループ討議とします。

〈1時間15分程度議論〉

○：(菊地)

そろそろ8時30分になりますので、本日の確認をしたいと思います。
グループの再編成について、本日の会議の前に行われましたリーダー会から出された考えを板書しました(P7「新グループ編成(案)」参照)。12月最初の分科会で、グループの再編成をする予定です。それまでにご意見があれば、リーダーを通してお知らせください。現在の案ですと、第一に「乳幼児グループ」と「親ステップアップ(旧：親教育)グループ」が一緒になったグループ、第二に「小中学生グループ」、第三に「高

校生を含めた青少年の問題を扱うグループ」を考えています。また、「子育てのための環境グループ」と「地域の中での子育てのグループ」の委員は、それぞれこの三つのグループに入っていて議論していただこうと思っています。また、今までの議論を聞いて他のグループに興味を持った委員はそちらに移ることも自由です。こうした形でグループを再編成する考えがあります。また、「地域の中での子育てグループ」と「子育てのための環境グループ」に関しては、年代別でテーマ設定したグループとは様子が異なっておりますので、三つのグループに入っただき、それぞれの意見を把握した後で再度、地域や環境というテーマの下でグループの検討をしていただきたいと思いますと考えております。

次に、第1分科会で次世代育成支援計画の項目の中で、議論がされていない部分については、当事者の意見を聞くために、アンケート調査を行ったらどうかという案が出ています。このアンケート調査をするワーキンググループを別に設けたいと考えています。どのような作業が必要なのかを含めて、検討・実施するグループです。

次に、⑥第5回「新宿まちづくり学」講座のお知らせについては、お配りしたとおりですので、よろしければご出席してください。

また、第5回の後に行われる第6回の「新宿まちづくり学」講座は、早稲田大学と連携で行う最後の講座となりますが、12月8日（木）18時から21時、四谷区民ホール（第6回だけは早稲田大学ではありません）で行います。我が第1分科会の汐見（委員）先生と武蔵大学の武田先生にお願いしまして、子育て・教育についてお話をさせていただきます。第1分科会の委員は、是非ご参加いただければと思います。区民会議に参加されていない方にもお声を掛けていただいて、たくさんの方に聞いていただきたいと思っています。以上よろしく願いいたします。チラシは次回お配りいたします。

最後に、中間発表会までのワーキンググループ参加者を前回お願いしました。青少年グループの山田委員と陣出委員が参加していただけたとのことですので、よろしくお願いいたします。

○：（並木）

お配りした資料の⑤「第11～第13回開催のお知らせ」に、今後の3回分の第1分科会の日程を記しておきました。第13回の会議は、初めての試みとして午前中に開催を予定しました。開催場所は同じですが、開催時間がそれぞれ異なりますのでご注意ください。

◎：（汐見）

みなさんご苦労様でした。今日やっていただいたことを次回も引き続き行ってください。次回は私が来られないのですが、きっちりと、ひとつのものにするという実務的な作業が続きますので、お願いいたします。この成果を全員が共有しながら、グループを少しシャッフルして、もう少し効率的な議論をしていきたいと思っています。

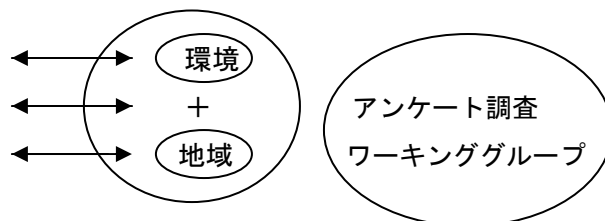
また、黒板にあるような形で、新グループの関係性を表しました。これは、「乳幼児・親のステップアップ」の中に、課題が新宿区にあるということです。同様に「小中学生」や「高校生・青少年」の中に課題があるということの現れだと思います。これが縦軸だとしたら、それに対する解決策としてどのような方法があるのかを、「地域の中での子育て」ではこういう支援が出来るのではないかとか、新宿区独特の取り組みはこういうことが出来るのではないかとか、様々な問題が横の軸から出てきます。そうしたように、クロスさせて考えることによって、だんだんと目に見える形になっていくのではないかと考えています。

皆さんにひとつお願いしておきたいことがあります。私はこのような次世代育成の検討グループを立川市でも行ってきました。こうした検討会の問題点として、参加されているのが一部の市民の方のみであるということです。区民会議という新宿区の取り組みも、ほとんどの新宿区民は知らないことと思います。いくら区民の立場と言っても一握りの方の意見になってしまうのが現状です。こうした大都会で、区民全員の意見をしっかりと吸収しながら「私たちのプラン」であることを区民全員に理解してもらうには、まだまだ距離が遠いのだと思います。しかし、嘆いてばかりではいけないので、このプランが区民全体のものになるためには、どのような仕掛けや工夫が必要なのかを考えていかなければなりません。また、どのようなコミュニケーションツールがつけられるのかを並行して考えてほしいと思います。それをプランの中に盛り込んでいければ、おもしろいプランになると思います。どうもありがとうございました。

〈板書〉

・新グループ編成（案）

乳幼児・親ステップアップグループ
 小中学生グループ
 高校生・青少年グループ



・第6回まちづくり学講座

12月8日（木） 18時から21時まで
 四谷区民ホール
 汐見稔幸先生
 武蔵大学 武田信子先生

次回以降日程

第11回

日時：平成17年11月21日（月）

午後2時から午後4時 予定（昼間）

場所：新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室

第12回

日時：平成17年12月1日（木）

午後6時30分から午後8時30分 予定 （夜間）

場所：新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室

第13回

日時：平成17年12月13日（火）

午前10時30分から午後12時30分 予定 （昼間）

場所：新宿区戸塚特別出張所 地下1階集会室